



# MESSAGE NOTES

## 働くこと

コロサイ人への手紙 3:23-24

ロイド・フラハティ

聖書は、働くことは神への礼拝であり奉仕であると教えています。

### 1. 主のために働く

主の働きのために仕事を辞める必要はありません。実際、私たち全ては、どんな仕事であれ、主のために働くように召されています。

コロサイ人への手紙 3:23-24 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心から行いなさい。あなたがたは、主から報いとして御国を受け継ぐことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。

すべての仕事は、上司や顧客のためだけでなく、主のために行っているかのように行うべきです。

### 2. 働くことは単に生きるため以上のもの

エペソ人への手紙 4:28 盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。

働くことを通じて、人は自分を支えるだけでなく、他人を助けることもできます。

### 3. 神様の知恵を求める

箴言 16:3 あなたのわざを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ。

あなたの仕事を主に捧げることで、あなたの努力は神によって支えられ、導かれます。

### まとめ

働くことは生きるためだけのものではなく、神様への忠実さを表す礼拝の形であり召しです。仕事を通じて、社会に貢献し、困っている人々に奉仕することで私たちを取り巻く世界にポジティブな影響を与えることができます。私たちが皆、聖書の価値観に従って働き、献身的に仕え、私たちの言動全てにおいて神様の栄光を現す生き方ができますようにお祈りします。